

～絵画・作文コンクール「作文の部」市長賞作品～
『環境にやさしい知恵』

大阪市立長吉出戸小学校
6年 山澤 愛音さん

わたしは、エコな知恵や工夫をみんなが知っていて、それを行えば、地球の環境はすごく変わると思います。

例えば、こんなエコな、知恵や工夫があります。「六分でご飯を炊く方法」です。まず、米をといで、三十分水につけます。そして、大きい鍋の中で、米一合に対して、一リットルの水を入れ、ふっとうさせます。最後に、ふっとうさせた水の中に米を入れ、フタをして六分間強火で加熱するのです。それだけで、ご飯を炊くことができるそうです。三十分水につける時間は長いですが、炊飯器ではどうしても六分でご飯を炊くことは無理です。しかも、これによって電気代がういて節約になります。とてもエコな知恵だと思いませんか？

ほかにも、「紙を早く乾かす方法」という知恵があります。まず、乾いたタオルを頭にかぶります。そして、タオルの上からドライヤーを当てて乾かします。そうすることで、髪を乾かす時間が半分になるそうです。髪が早く乾く仕組みは、頭にタオルをかぶると、髪の水分が蒸発してタオルの中がむれます。そこから、タオルがその水分を吸うということです。長い髪の女の人は、長い時間をかけて乾かすことがとてもめんどろです。この方法を行うことによって、面倒な思いもせず、一つ前にしょうかいした知恵と同じように、電気代の節約ができます。楽にできることが、環境に優しいことにつながるの、すごいと思います。

しょうかいした二つのエコな知恵や工夫は、インターネットで調べたものです。わたしは作文がきっかけでこれらの知恵を初めて知りました。こんなに簡単に出来て、地球のためになるなら絶対にやろうと思いました。

知恵や工夫は、今はあまり使わなくなったとわたしは思います。なぜかという、「おばあちゃんの知恵」という言葉がありますが、その知恵はどれも、昔、便利な物が無かったから生まれたものです。今は、便利な道具がひんばんに生まれて、知恵を使う機会がそんなになくなったと思うからです。

でも、知恵を使わなくなったのは悪いことではありません。便利な道具があることで、みんなは楽に、早く、行動ができて助かっています。だから、便利な道具を全く使わないのではなく、生活に知恵を少し取り入れることで、くらしがとても良くなり、また、地球も少し良くなるとわたしは思います。

※ 原文のまま掲載しています。学校名・学年は受賞当時

～絵画・作文コンクール「作文の部」局長賞作品～
『エコってわたしにもできるのかな～？』

大阪市立遠里小野小学校
2年 森田 陽菜さん

わたしの町会では、一か月に一回古紙かいしゅうをしています。でもなぜあつめていいのかしりません。おかあさんに聞くと、古紙かいしゅうはエコになるとおしえてもらいました。ふるしんぶんは、ザッシやいんさつように大へんしん。していましたか？古紙は、そのほか、ダンボールばこ、絵本、ふうとうにもなるそうです。それを聞いて、うれしいなと思いました。日本では、一年間に一人あたり紙がやく220キログラム出るそうです。わたしよりおもくてビックリです！。わたしは、まいにちまだつかえる紙をすてていたけれど、これからはすてないようにします。

でん気もエコとしりました。

水もエコと聞きました。そんなにエコがあるなんてしらなかったです。水とでん気のせつやくもエコにつながると聞いて、エコっていっぱいあるんだな～と思いました。

あさおきて、まずかおをあらいます。そしてトイレ。あさごはんをたべて、学校に行きます。かえって、おふろにはいります。

一日の水をつかうりょうは、せんとく10%、おふろ20%トイレ30%だいどころ40%です。

わたしができることは、お風呂のエコだな～とおもいました。シャワーを3分間ながすとなんと、36Lも水がながれているそうです。すごいらょうにびっくりしました。これからは、なんかいもシャワーをとめてお風呂にはいろうとおもいました。

はじめは、エコってむつかしいと思っていたけれど、古紙かいしゅうや、シャワーをとめるだけでもエコになるとしりました。エコって思ったよりかんたんでした。もっとエコをさがしてみたいです。

※ 原文のまま掲載しています。学校名・学年は受賞当時

～絵画・作文コンクール「作文の部」教育長賞作品～
『かんきょうにやさしい生活』

大阪市立十三小学校

4年 石角 花那さん

地球のかんきょうを守るために、わたしができることはなにかと、考えてみました。

まず、ごみをへらすことを考えました。

ゴミをへらすには、かいものをする時にかいものカバンをもっていくことがいいと思いました。スーパーのふくろをつかわずにすむからです。

やさいを食べる時には、葉までりょうりして、食べるようにします。そうすれば、ゴミはでないからです。

肉の入ったトイレや、牛にゆうパックは、スーパーにある、リサイクルのところへもっていくようにします。

次に、空気をよごさない生活のしかたを、考えました。

お出かけする時は、車にのらないで、電車を乗ること、自転車にのることです。そうすることで、ガスがださなくてすみます。

次に、でんきのつかい方について、考えました。

朝は、太陽のひかりをへやにいれて、でんきをつけずに、すごします。

でんきをつけた時は、つけっぱなしにはしないで、こまめにけします。太陽のひかりをあつめてでんきにする、ソーラーパネルも家のやねにつけたいです。

さいごに、水をよごさないように、するくふうを考えました。

水は、つかったときは、だしばっなしには、しません。りょうりであぶらをつかったときには、あぶらを、しんぶんして、すいとりがさないようにします。せんとくする水はおふろののこり水で、せんとくします。

こういうことを、地球で生活するみんなが心がけてくれたら地球がおろこぶと思います。地球にすむみんなにも、どうぶつにもやさしい生活のしかたをこれからもして、とりくんでいきたいです。

※ 原文のまま掲載しています。学校名・学年は受賞当時